

令和7年度

第1回岡山市総務・市民政策審議会における主要な意見

1 日 時 令和7年11月10日（月）午前10時から午前10時53分まで

2 場 所 岡山市勤労者福祉センター5階 体育集会室

3 出席者 委員 8名

4 傍聴者 報道 1名 傍聴者 0名

5 議 題 第2期岡山市公共施設等総合管理計画の策定について

6 第1回岡山市総務・市民政策審議会での主な意見

- ・行政として民間開発を規制できないまま、人口が増えれば施設を建て、減れば閉鎖するような対応をせざるを得ないことが、これからの時代にどうなのか。行政が施設として持ち続けなければならないものなのか。市が造らなくても民間のものを借り上げたりといった発想もあるのではないかな。
- ・市が施設の統廃合を進めていくうえで、どのようなところに配慮しているのか、市民にも分かりやすく説明してほしい。
- ・それぞれの施設で歴史的経緯や存在意義があり、複合化によって市民サービスの低下を招かないようにきちんと位置づけを考えて行ってほしい。
- ・効率よくコンパクトにしていくことが必要なのは分かるが、一方で地域で施設の機能を必要とする人がいると思うので、そこが集約化等により遠くて利用できなくなってしまうのは、本来果たすべき機能が十分に果たしきれないことになってしまったと感じた。
- ・施設の長寿命化で、早くから長く使用することを想定して費用を投入していると、その後の社会情勢等で建物の使い方が変化した場合にも、やめられなかったり、建物が陳腐化してしまうことが懸念される。
- ・施設の複合化等の際に市民の意見を聞くことを、計画の中で公共施設マネジメントの視点として示しているが、地域住民に理解してもらえる説明をどのようにしていくのかを考えてほしい。
- ・それぞれの地域で何が地域の拠点として活用されているかを客観的に分析し、地域のつながりのために必要であるという施設は残して欲しい。

- ・施設について、市民にしっかり考えてもらうことを、できれば早い段階で実施した方が良いと思う。施設のマネジメントについても市役所内だけではなく、施設利用者と一緒に考えていくというステップが次の計画に入ればよいと思う。
- ・特にインフラの更新には、多額の費用が必要となることが見込まれるが、水道が止まったり、陥没事故が起きたりしないよう、工夫をしながら取り組んでいただきたい。
- ・施設を建築する際には、その施設がいずれ使われなくなったときに、どのように利用していったらよいのかを市民と一緒に考えていくことが大切である。